

平成 19 年 11 月 27 日

久留米市長 江 藤 守 國 様

久留米市田主丸地域審議会
会 長 別 府 哲 英

新市建設計画並びに地域振興基金に関する今後の事業の進捗について（答申）

平成 19 年 7 月 13 日付け 19 田地第 150 号で諮問のあった「新市建設計画並びに地域振興基金に関する今後の事業の進捗」について、当審議会において慎重に審議した結果、下記のとおり答申します。

記

1 新市建設計画に関すること

新市建設計画主要事業については、厳しい財政状況の中で優先的に予算措置がなされ、おおむね着実に進捗していると認められるが、次の点に留意して今後の事業進捗を図られたい。

(1) 本庄屋敷整備事業

本庄屋敷については、保育所や小学校の児童など主に地元住民の利用があっているが、より多くの人が訪れるように、活用方法を検討されたい。

(2) 川会小学校校舎改築事業

川会小学校に関しては、学童保育所新築やこれに伴う遊具移転などが予定され、施設設備の充実が進んでいるので、校舎の改築等に当たっても、屋外施設利用時の利便性向上が図られるよう準備を進められたい。

(3) 地域保健センター等複合施設整備事業

地域保健センター等複合施設整備に関しては、地域住民の利便性を十分考慮し、より良く、充実したものとなるよう努力されたい。

2 地域振興基金に関すること

地域振興基金活用事業については、おおむね着実に進捗していると認められるが、次の点に留意して今後の事業進捗を図られたい。

(1) みのう花あふれる里づくり事業

この事業の趣旨は十分評価するが、申請件数が少ないようなので、多くの人が利用できるよう検討されたい。

平成 19 年 11 月 27 日

久留米市長 江 藤 守 國 様

久留米市田主丸地域審議会
会 長 別 府 哲 英

田主丸区域の振興に関することについて（提言）

地域審議会の設置に関する協議書第 3 条第 2 項の規定に基づき、田主丸区域の振興に関することについて、下記のとおり提言します。

記

1 浮羽バイパスから田主丸中学校へ至る市道周辺の整備について

国道 210 号線浮羽バイパスの事業進捗に伴い、バイパスから田主丸中学校へ至る市道周辺の交通量増加が見込まれる。

この地域は、中学校のほか水分小学校や勤労青少年ホームなど文教施設が密集しているので、通学時の安全確保等の観点から、当該市道の拡幅及び周辺施設の整備について検討されたい。

2 校区コミュニティ組織の形成について

旧久留米市で行われているような校区コミュニティ組織の形成に当たっては、田主丸地域の現状を十分に把握し、組織形成に向けた環境整備などを検討されたい。

あわせて、校区における女性の参画促進にも留意されたい。

3 田主丸中央バス停留所跡地について

田主丸中央バス停留所は、頑丈な上屋やベンチ、売店、トイレ等があり、乗降客にとって利便性が高く、また、田主丸地域の中心であるイメージが定着している。

国が行う東町交差点の改良に伴い、この上屋等が撤去されるが、跡地に上屋等の施設がなくなると、乗降客の利便性低下や地域のイメージダウンが懸念されるので、関係機関等と十分調整の上、一定の整備を検討されたい。

4 にぎわいのあるまちづくりについて

田主丸地域には多くのイベントや観光情報があるが、これらの宣伝等に当たっては、マスコミを上手に活用してより広く多くの人々に周知し、人が集い楽しめるよう努められたい。

また、そよ風ホールの建設以降、文化団体等の活動が活発になってきたので、活動の場となる施設については、より一層の利用拡大に向けた環境整備を検討されたい。

さらに、地域を担う人材の育成に努め、地域産業の活性化を通じて、にぎわいのあるまちづくりを図られたい。